

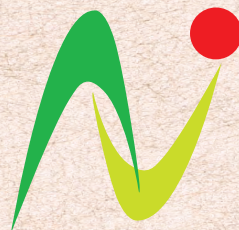
なかがわ

広報

2014. 2



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



No.101

- ご成人おめでとう 2
- 二十歳のメッセージ 4
- 八溝山周辺地域定住自立圏形成協定を調印 6
- 町環境基本計画後期計画案にご意見を！ 7
- 親子の絆づくりプログラム 11



青木コレクション展 —最後の浮世絵師 小林 清親—



武士から浮世絵師として成功を収めた小林清親ですが、その生涯は波瀾万丈ともいえるものでした。幼い頃から絵が好き

で写生帖に絵を描き溜めていましたが、父の死によりそれらを焼き捨てて武術の修練に励みます。将軍の上洛にも同行しますが、待っていたのは明治維新による戦乱でした。維新戦争終結後は生活のために6尺2寸（約186cm）の体格を生かして剣術興業団に入り、各地を渡り歩いたこともありました。

さまざまな経験ののち浮世絵師の道に入り、「光線画」と称した風景版画が人気を博してからも火事現場の写生に夢中になって自宅を焼失したり、それがきっかけとなったのか当時の妻と離縁するなど私生活は起伏の激しいものでした。ただ絵師としては多忙を極め、弟子達にも恵まれました。

「日本名勝図会」シリーズは清親の風景版画としては晩年の作品です。日本各地の風景を描いたものが28点確認されており、その中でも日光を題材とした作品が多いことが特徴です。清親は明治13年(1880)に日光を訪れ、その時のスケッチが作品に生かされています。本図「中禅寺湖」は中禅寺湖畔の茶屋から湖面を望んだものと思われます。右前方には釣り糸を垂らす客の姿も見えます。

今回の展覧会では「日本名勝図会」シリーズも多く出品いたします。清親が愛した日本の美しい風景を是非、ご覧下さい。

馬頭広重美術館 学芸員 塩野目育枝



小林清親「日本名勝図会 中禅寺湖」

【会 期】 ~3月2日(日)
【休 館 日】 月曜日、祝日の翌日

【次回展覧会】

企画展 「歌川国芳

—みかけハコハみがとんだい>人だ—

【会 期】 3月7日(金)~4月13日(日)

【ミュージアムトーク】

3月8日(土) 午後1時30分~ ※要観覧料

【関連講演会】

3月22日(土) 午後1時30分~ ※無料

【入館料】 大 人 500円(450円)
高・大学生 300円(270円)

※()は20名以上の団体料金。

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

エリア集中パトロール出発式



パトカーや白バイ28台がパトロールへ出発



式典前に行われた試乗体験

交通事故を防ぐためのエリア集中パトロール出発式が1月29日、広重美術館前で行われました。馬頭小学校約300名の児童に見送られ、パトカーや白バイが那珂川町の全域をパトロールしました。

